

日本臨床検査専門医会

平成 23 年度第二回常任幹事会議事録

平成 23 年 10 月 14 日

日本臨床検査専門医会 平成 23 年度第二回常任幹事会議事録

開催日時：平成 23 年 10 月 14 日（金）15 時～16 時 30 分

開催場所：日本臨床検査専門医会事務局

出席者：渡辺 清明会長、佐守 友博副会長、渡邊 卓副会長、
土屋 達行、山田 俊幸、東條 尚子 各常任幹事、
水口 國雄監事

欠席者：村田 満、矢富 裕各常任幹事、高木 康監事

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、渡辺 清明会長は議長席につき、挨拶の後開会を宣した後、直ちに議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

渡辺 清明議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 土屋 達行、東條 尚子 各常任幹事

第二号議案 平成 23 年度会長・監事選挙結果について

議長は、会則第 16 条に従い、会長および監事選挙の結果を東條庶務・会計幹事に発表させ、満場一致をもってこれを承認した。

記

会長 佐守 友博

監事 土屋 達行

高橋 伯夫

以上。

なお、監事の被選挙人や選挙管理委員会の規定に関する会則について、次期資格審査・会則改定委員会で検討することが承認された。

報告事項

1. 第 39 回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長は、東條庶務・会計幹事に、第 39 回日本臨床検査専門医会総会における

講演会の講演内容について報告させた。

記

日時：平成 23 年 11 月 17 日（木）午後 2 時 10 分から 3 時
（講演 40 分、質疑応答 10 分）
場所：岡山コンベンションセンター 2 階 レセプションホール
講演内容：日本の専門医制度の現状と今後の動向
座長：渡邊 卓教授（杏林大学病理系専攻臨床検査医学分野）
演者：橋本 信也先生（医療教育情報センター理事長）

以上。

2. 平成 23 年度中間会計報告

東條庶務・会計幹事より、平成 23 年度（1 月 1 日から 8 月 31 日）の中間会計報告があった。収入においては、会員会費収入が予算額の 74% であるため、今後、未納会員に個別の督促をする予定である。支出においては、臨床検査振興セミナー経費が予算に対し 226,373 円支出超過となった。これは講師を海外から招聘したための旅費等による。それ以外はほぼ予定どおりに執行されている。

3. 各種委員会報告

① 情報・出版委員会

矢富情報・出版委員長欠席のため東條庶務・会計幹事より、以下の報告があった。LabCP 29 巻 1 号（春季大会特集号）は、現在印刷中で近々発刊予定である。JACLaP NEWS、WIRE、ラボ（専門医コーナー）は順調に発刊している。

（佐守副会長）「ラボ」に非科学的内容を含む記事が掲載されていた件で発行元である衛生検査所協会に改善を申し入れた。現在は、衛生検査所協会の学術委員会がチェックを入れている。

② 教育研修委員会

山田委員長より、第二回生涯教育講演会は、平成 24 年 3 月 23 日 第 22 回春季大会に合わせて山口で開催を予定している。内容は未定と報告があった。また、平成 24 年度の教育セミナーは、本年度同様、4 月から 5 月頃に実技形式セミナー（開催場所：自治医大）、講義形式セミナーの 2 回を計画している。講義形式セミナーは都内で開場を確保し、専門医会で企画運営を行い開催場所とな

る施設に負担をかけない方式にしたいとの提案があった。

③ 資格審査・会則改定委員会

土屋委員長より、選挙に関する会則改定の見直し検討は、委員会で問題点を整理したのち、次期委員会に申し送る旨の報告があった。

(渡辺会長) 選挙に関する会則は、本委員会で時間をかけて十分に検討してもらいたい。

④ 渉外委員会

佐守 友博委員長より、第 28 回臨床検査振興セミナー(平成 23 年 7 月 22 日)の報告があった。今後、振興セミナーの企画以外でも渉外活動を積極的に行う機能を持たせたいと考えているとの発言があった。

⑤ 保険点数委員会

渡辺 清明委員長より、平成 24 年度診療報酬改定にむけ内保連経由で提出した提案書に対し、9 月 8 日厚労省のヒアリングがあった。

東條保険点数委員会委員(庶務・会計幹事)より以下の報告があった。本会も参加協力している内保連生体検査 WG において、コスト調査をふまえ生体検査の増点を求める提言書を作成した。10 月 6 日厚労省を訪問し、内保連からの提言として提出した。

⑥ 専門医数増加方策検討 WG

特になし

⑦ 専門医広告啓発促進 WG

特になし

4. 第22回春季大会について

日野田幹事に代わり、東條庶務会計幹事からシンポジウム案の報告があった。

記

第 22 回日本臨床検査専門医会春季大会

大会長 日野田裕治 教授(山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学

分野)

開催日時：平成 24 年 3 月 23 日（金）、24 日（土）

開催場所：山口大学医学部霜仁会館、宇部国際ホテル

シンポジウム（案）：1. 臨床検査専門医育成のための専門医教育のありかた
2. 遺伝子検査の今後

5. 第 23 回春季大会について

第 23 回春季大会 大会長の渡邊卓副会長（大会長）から、会員の親睦をはかるため、開催地を熱海等に設定することも含め検討中である旨の報告があった。

6. 平成 23 年度第一回臨床検査専門医管理医報告

東條庶務・会計幹事より、平成 23 年 6 月 18 日に開催された日本臨床検査医学会 臨床検査専門医審議会において、以下のように規定が改定される旨の報告があった。

・認定更新制度規定が改定され、日本臨床検査医学会または日本臨床検査専門医会が主催するリスクマネジメントに関する講習会の出席は 5 点となる。

なお、本年 6 月に開催された第一回生涯教育講演会は改定前のため 10 点である。

・臨床検査管理医規定が改定され、更新単位を取得できる関連学会に、日本臨床検査専門医会が追記される。

7. 今後の委員会ならびにワーキンググループ会議開催予定について

東條庶務・会計幹事から、11 月の臨床検査医学会学術集会に合わせて開催予定の委員会・ワーキンググループ会議について報告があった。

8. 「臨床検査の日」講演会ならびに周知への協力依頼

佐守副会長より、臨床検査振興協議会が 11 月 11 日に「臨床検査の日」記念講演会を開催するとの知らせがあったと報告があった。

また、「11 月 11 日検査の日」周知への協力依頼があり、臨床検査振興協議会に連絡すればロゴマークの使用が可能であり、ホームページ、封筒、便せんなどに入れ一般の方々への啓発活動をしてほしいとの説明があった。

「臨床検査の日」記念講演会の案内は、LabCP 発行時に同封して会員に周知することです承された。

9. 「臨床検査の日」連動イベントへの協力依頼

佐守副会長より、臨床検査振興協議会が「臨床検査の日」連動イベントとし

て企画している「セーフティー教室&講演会（主催：中野法人会）」（平成 23 年 11 月 5 日 開催場所：東京都中野区第十中学校体育館）の「検査医による無料健康相談」（13 時から 14 時）について協力要請があると報告があった。本会では、検査専門医 4 名で協力することが了承された。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 23 年 10 月 28 日

東條 尚子 印

平成 23 年 10 月 25 日

土屋 達行 印